



種名：カマツカ類 *Pseudogobio esocinus complex*

分類：在来種と国内外来種が混在 純淡水魚

### ○大きさ

- ・成魚：15～20cm

### ○生息箇所（すみか）

- ・利根川の下流から中流や霞ヶ浦に広く生息しています。
- ・砂の多い場所を好みます。

### ○生態（どんな生活をしているか）

- ・底生動物(アカムシ等)を好んで食べるが、雑食性です。
- ・初夏から夏(5～8月)に礫(小石)に産卵する。
- ・利根川のカマツカ類は、カマツカとナガレカマツカ、スナゴカマツカの3種類が確認されています。カマツカとナガレカマツカは国内外来種でスナゴカマツカは在来種です。

### ○釣りや漁業

- ・投げ釣り等でつれる。餌はミミズや練り餌がよく使われる。
- ・漁業や水産利用(すいさんりょう)は殆どありません。

### ○地域利用

- ・利根川下流部ではカマツカ類を利用する郷土料理はありません。
- ・琵琶湖や濃尾平野では塩焼きや天ぷらのネタとして利用されます。